

血液型といえば、「A型はきちょうめん」「O型は大ざっぱ」といった性格診断がおなじみですが、血液型と性格の関連性には科学的根拠がないことが分かっています。

一方、血液型と病気のリスクに関する研究は、世界中で行われています。まだまだ心配な新型コロナウイルスでも血液型との関係が指摘されています。

中国、武漢で新型コロナウイルスに感染した患者の血液型を調べた研究結果では、A型の血液型を持つ人は、新型コロナウイルスの感染や死亡のリスクが高く、O型がもっともリスクが低いことが分かりました。

イタリアやスペインでの分

## がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

# 病気発症リスク 血液型で差

B、A B型の人に比べ、膵臓がんになりやすい」と結論づけています。膵臓がんの発症リスクはO型が一番低く、B型のリスクはO型に比べ約1・7倍、A B型は約1・5倍、A型は約1・3倍でした。

スウェーデンとデンマークの100万人以上の献血者のデータを分析した結果では、A型の人の胃がんの発症リスク

はO型に対して2割も高くなっていました。

O型の私(ちなみに大ざっぱです)に有利なデータを紹介しましたが、胃や十二指腸の潰瘍はO型に多い傾向があ

りまして、また、救命救急センター2施設に運ばれてきた901人のデータでは、O型の人の死亡率はO型以外の人の2倍以上になっていました。

ります。

O型の人では、血液凝固因子の一つが他の型の人より3割も少ないため、大げがによる出血が止まりにくいことが原因の一つとされています。

O型に心筋梗塞が少ないのも同じ理由でしょう。

血液型を変えることはできませんが、生活習慣を変えることはできます。禁煙、節酒と運動でがんの予防は十分に可能です。コロナ禍でもこのライフスタイルを守りたいものです。

(東京大学病院准教授)

析でも同様の傾向が示されており、A型の人は要注意と言えるでしょう。なお、A型の人はマラリアなど、他の感染症にも弱いとされています。

がんについても血液型によ

研究では、「O型の人はA、